

# 平成18年6月教育委員会定例会会議録

## 付議事項

議案第 7号 教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例（案）について

中村総務課長から、教育長の給料月額を知事の給与等の改正に準じて改正する条例（案）の説明があり、原案のとおり決定した。

議案第 8号 平成19年度和歌山県立中学校生徒募集定員（案）について

西原小中学校課長から、平成19年度の県立中学校の募集定員（案）について説明があり、原案のとおり決定した。

議案第 9号 公立小・中学校の適正規模化について（指針）（案）

池田小中学校課市町村支援室長から、公立小・中学校の適正規模化の指針（案）について、小学校においてはクラス替えが可能である1学年平均2学級を下限とする12～18学級、中学校においてはクラス替えが可能で、教科担任制と学習集団の弾力的編成等が可能となる1学年平均3学級を下限とする9～18学級を、それぞれ適正規模の基準とし、基準を下回る学校については、市町村教育委員会において地域の実情を児童数の推移を勘案しながら、適正規模化の検討を進めていく必要があるとの説明があった。

委員からは、学校規模と児童生徒の学習効果との関連性を分析するなどして、統廃合の必要性をより詳しく説明していくことが必要であるとの意見が出された。また、より良い学校をつくるためという教育的見地からの統廃合であるということが理解されるように進めていくことが必要であるとの意見が出された。市町村支援室長から、適正規模に満たないと判断される学校の全てが統廃合されるわけではなく、様々な事情を勘案しながら、子どもにとっての最善の学習環境を重視し、地域の期待に応える学校づくりを支援して行きたいとの説明があった。以上の審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第10号 平成18年度優良PTA文部科学大臣表彰候補団体の推薦（案）  
について

勝丸生涯学習課長から、学校教育の支援活動、子どもの登下校時の安全確保への取組、食育や環境問題に対する活動などにおいて大きな成果をあげている小学校育友会1団体を推薦したい旨の説明があり、原案のとおり決定した。

議案第11号 平成18年度地域文化功労者文部科学大臣表彰候補者（案）  
について

藤井文化遺産課長から、歴史地理学の振興や文化財保護に尽力した者1名と、謡曲の愛好者団体の代表を務め、地域文化の発展に尽力した者1名を推薦したい旨の説明があり、原案のとおり決定した。

議案第12号 平成19年度和歌山県立高等学校の学科の改編（案）について

岸田県立学校課長から、県立高等学校の学科改編（案）について、和歌山工業高等学校の9学科を機械・電気・化学技術・産業デザイン・建築・土木・創造技術の7学科に改編し、また、同校に定時制課程の建築科と機械電気科の2学科を設置し、和歌山第二工業高等学校の募集を停止すること、箕島高等学校の普通科にスポーツコースを設置すること、日高高等学校の自然科学科を総合科学科に改編すること、新宮商業高等学校の現代ビジネス科、情報処理科に新宮高等学校の建設工学科を併せて、総合学科に改編すること、向陽高等学校の環境科学科については、向陽中学校からの進学のみとし、高等学校からの入学者を募集しないこと、の説明があった。

委員から、箕島のスポーツコースについては、スポーツの振興発展についての専門的な知識を持った人材の育成という面を重視するようとの意見が出された。また、和歌山工業高等学校について、学科改編に伴う教育内容の充実、施設設備面の対応について質問が出され、県立学校課長から、産業や技術の変化に対応して内容を充実させており、施設整備については、高度な専門教育が行えるよう校舎の改築も含めた改編であるとの回答があった。

以上の審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第13号 和歌山県地方産業教育審議会委員の改選（案）について

県立学校課長から、地方産業教育審議会委員の改選（案）について説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第14号 平成18年度学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰候補者の推薦（案）について

井上健康体育課長から、永年にわたり児童の健康増進に功績のあった学校医1名を推薦したい旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第15号 教職員の処分（案）について

小中学校課長から、中学校教諭及び同校校長を処分したい旨の説明があった。委員からは、関係者に対しては処分後も適切な指導を加えていくようにとの意見が出され、審議の結果、原案のとおり決定した。